



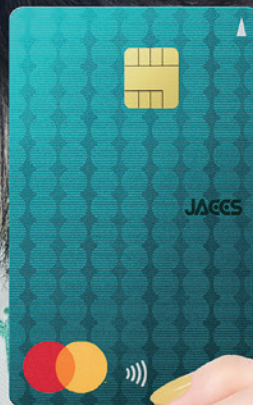
株主通信

第92期中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

株式会社ジャックス

証券コード: 8584



ごあいさつ

取締役社長
(代表取締役)
COO
村上 亮



環境の変化に応じた積極的な事業展開で 国内・海外ともに着実に成長しています

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、株式会社ジャックス第92期(2022年4月1日～2022年9月30日)中間報告書をお届けいたします。皆様には、より一層のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

取締役会長
(代表取締役)
CEO
山崎 徹



第92期第2四半期経営成績と 通期見通しについて

新型コロナウイルス感染症が拡大と縮小を繰り返すなか、ウィズコロナの事業活動を進めたことで、第92期第2四半期累計期間の連結業績は概ね順調に推移しました。

国内では、クレジット事業がけん引し、取扱高が増加しました。オートローンは、世界的な半導体不足で新車販売が低迷するなどの影響を受けましたが、各種施策の実施や全国の拠点網を活かした中古車販売店との取引深耕によって、前年同期比二桁伸率となりました。行動規制が緩和されたことでカードショッピングの取扱高も堅調に推移しました。

海外では、各国の経済活動の回復にともない、取扱高が増加しました。2022年6月には、カンボジアの子会社でマイクロファイナンスのライセンスを取得し、融資商品の取扱いを開始するなど事業領域を拡大しています。

費用面では、金融費用及び債権良質化の進展により貸倒

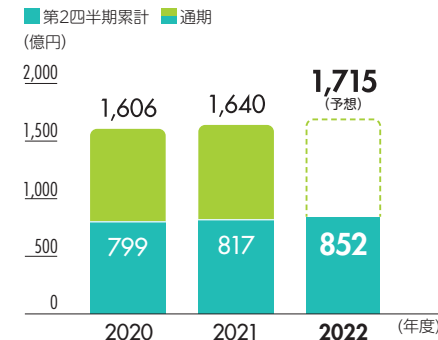
関連費用が減少しましたが、カード会員数の増加によるカード発行関連費用等が増加したことで微増となりました。

これらの結果、営業収益が増加し、連結経常利益は164億円(前年同期比17.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は111億円(同14.4%増)となりました。

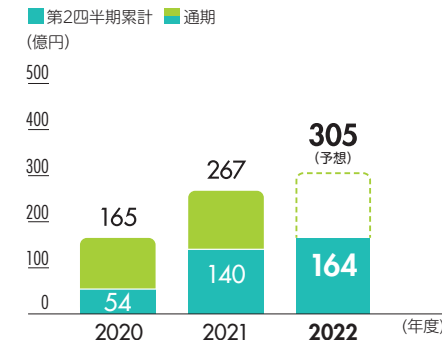
中期3カ年経営計画「MOVE 70」の開始から半年が過ぎ、世界的なインフレや地政学リスクの長期化など依然として先行き不透明な状況が続いていますが、当期の見通しは期初の計画よりも上振れて進捗しているため、業績予想を修正しました。当期の連結業績は、営業収益1,715億円、経常利益305億円、親会社株主に帰属する当期純利益205億円を予想しています。

配当については、当初予想を修正し、中間配当を1株当たり10円増配して95円、期末配当を5円増配して90円を予定しています。年間配当は1株当たり185円と過去最高額の予定です。

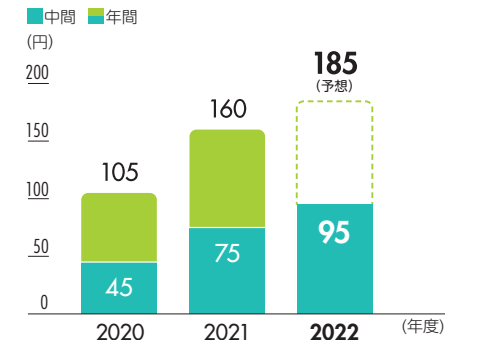
連結営業収益



連結経常利益



配当



Special Feature

特集 社長インタビュー

中期経営計画の完遂に向け、
一歩ずつ着実に前進していきます

2022年4月にスタートした中期経営計画「MOVE 70」を遂行するにあたっての思いを、村上取締役社長（COO）に聞きました。

Q 中期経営計画の名称「MOVE 70」にはどのような思いが込められていますか。

この中期経営計画は、本来であれば昨年スタートする予定でしたが、コロナ禍の影響により1年遅れでの開始となりました。延期した1年間は、コロナ禍でのさまざまな制約によって満足のいく活動ができなかったため、「まずは動こう」という強い意志を「MOVE」で表しています。また、中期経営計画を「自分事として捉え、自分の意志で主体的に動こう」という全役職員へのメッセージも込めています。中期経営計画の最終年度である2024年は当社の創業70周年にあたるため、その節目に向けて、より一層お客様やお取引先様からも

選ばれる会社を目指すという思いを込めて「MOVE 70」としました。

Q 外部環境の変化をどう捉え、どのように対応していきますか。

長期化する新型コロナウイルスの感染拡大や地政学リスクの顕在化、物価の上昇など、先行きの不透明さが増しているなかでも、前年度は経常利益・当期純利益で過去最高益を更新しました。足下では米国金利の上昇を背景に金融市場の不確実性が高まっていますが、いかなる状況においても経営課題を特定し、その課題に対して誠実に対応することが何

よりも大切であると考えています。また、スピード感を持って対応することも経営にとって不可欠な要素の一つです。今後も、環境変化に即したさまざまな対策を行いながら持続的に成長し、社会に価値を生み出していけるよう取り組んでいきます。

Q 昨今、サステナビリティに関する取り組みが注目を集めていますが、ジャックスの取り組みについてお聞かせください。

当社は、中期経営計画「MOVE 70」において、3年後のあるべき姿の一つに「ESG経営の推進」を掲げています。新たに策定したサステナビリティ基本方針のもと、特定した5つのマテリアリティへの対応を進め、環境や社会課題の解決に向けた取り組みを強化していく必要があります。また、人的資本への投資を強化するため、デジタル教育などの持続的成

長を担う人材の育成や女性をはじめとした多様な人材が活躍できる職場環境の整備を進めていきます。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

株主の皆様には、日頃より厚いご支援を賜り深く感謝申し上げます。

先述のとおり、中期経営計画の最終年度は当社の創業70周年にあたります。まずは、「MOVE 70」を完遂して、ステークホルダーの皆様とともに創業70周年を迎え、さらにその先の100周年を目指して、これからも人材の育成を大切にしながら、機動的に動いていきます。株主の皆様には、長期にわたり安定した配当を行っていけるよう、財務健全性の維持・向上に取り組んでいきます。これからのジャックスグループの進化と成長にご期待ください。

MOVE 70

中期経営計画に込めた思い
自分の意志で主体的に動く

中期経営計画の
達成に向けた対応
環境変化に
スピード感を持って対応

あるべき姿1



強みを活かした
国内事業の収益基盤拡充

あるべき姿2



将来の成長をけん引する
海外事業の収益基盤の確立

あるべき姿3



国内・海外の成長を加速する経営基盤の強化

あるべき姿4



ESG経営の推進

長期ビジョン

アジアの
コンシューマーファイナンス
カンパニーとして
トップブランドを確立する

ジャックスの 事業紹介

買い物は物質的なだけでなく、心、そして人生をも豊かにしてくれます。
まさに買い物は「未来に一粒のタネをまく」ようなもの。そんな“タネまき”を、
私たちは、さまざまなシーンで、そして世界でお手伝いしています。

クレジット事業



多様な加盟店とのパートナーシップを構築し、
ライフスタイルに応じたさまざまなお支払い方法を提供

さまざまな生活シーンに必要な、自動車・住宅リフォーム・バイク・家電・メディカルなどの購入におけるローンや決済サービスを提供。加盟店数とともに、サービスを提供する業種の拡充も図り、お支払方法のラインナップを揃えることで、豊かで健全な暮らしを求めるお客様をサポートしています。

業界トップクラスの取扱高

1兆3,832 億円

2021年度実績



カード・ペイメント事業



クレジットカードなどの各種決済サービスや
集金代行機能の提供を通じて業務効率化を実現

コロナ禍で一段と普及したECサイトでの購入や非接触に決済での支払い。加速するキャッシュレス化に、決済手段の拡充はもちろん、セキュリティレベルの向上も一層図っています。また、さまざまな家賃保証や集金代行サービスを取り揃え、提携先の皆様の業務効率化、販売業務への注力を支援しています。

カード会員数

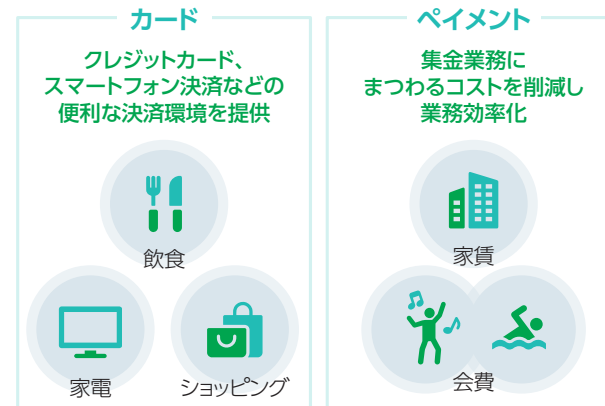
654 万人

2021年度実績

カードショッピング取扱高

8,879 億円

2021年度実績



ファイナンス事業



投資用マンションや車などの購入におけるローン保証で
暮らし・人生の転換、夢の実現をサポート

住宅ローン保証においては、投資用マンションに特化。長期的にも需要が見込める大都市圏を中心にサービスを展開し、この分野においてはトップシェアを堅持しています。また、銀行個人ローン保証としては、600行を超える金融機関と提携して、お客様の購入資金づくりをサポートしています。

住宅ローン保証残高

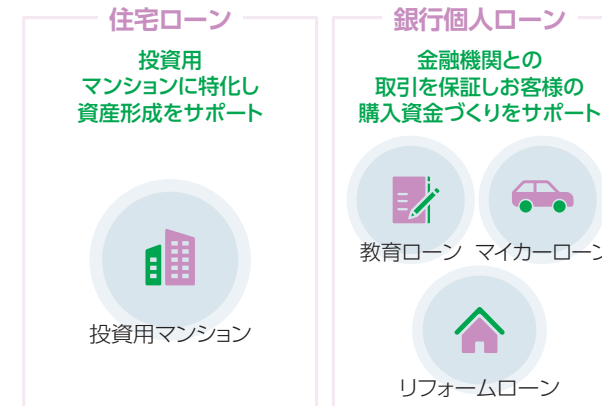
2兆2,194 億円

2021年度実績

銀行個人ローン保証残高

5,605 億円

2021年度実績



海外事業



モビリティを中心としたローン事業を通じて
ASEAN諸国の豊かな暮らしの実現を応援

経済成長とともに購買意欲が高まるベトナム、インドネシア、フィリピン、カンボジアのASEAN諸国において、バイクや自動車、家電などの購入におけるローンサービスを提供しています。日本での事業展開のなかで培ったノウハウを活かして事業を拡大させ、この地域の方々の豊かな暮らしの実現に貢献しています。



連結決算ハイライト

損益状況 (各年度の4月1日～9月30日)

	2021年度	2022年度
取扱高 (百万円)	2,617,083	2,714,171
営業収益 (百万円)	81,780	85,297
経常利益 (百万円)	14,039	16,422
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	9,708	11,108
配当金 (円)	75	95

キャッシュ・フロー (各年度の4月1日～9月30日)

	2021年度	2022年度
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△65,946	△74,363
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△3,512	△5,026
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	104,066	91,509

財政状態

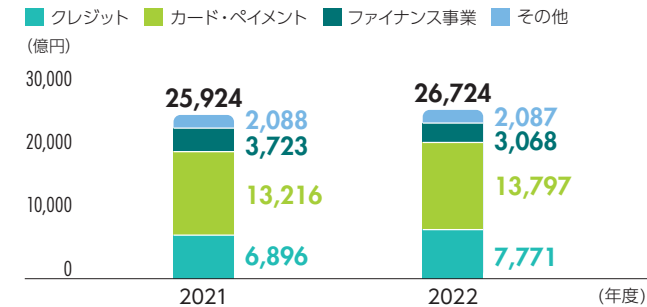
	2022年3月31日時点	2022年9月30日時点
総資産 (百万円) (※)	3,215,006	3,360,233
純資産 (百万円)	192,217	203,706

(※)金融機関等が保有する貸付金等の債務保証と債権の回収を行う業務に係る保証残高を信用保証割賦売掛金及び信用保証買掛金として連結貸借対照表に計上していましたが、今年度より会計処理を変更し、連結貸借対照表に計上しないことといたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、2022年3月期についても遡及適用後の総資産額となっております。

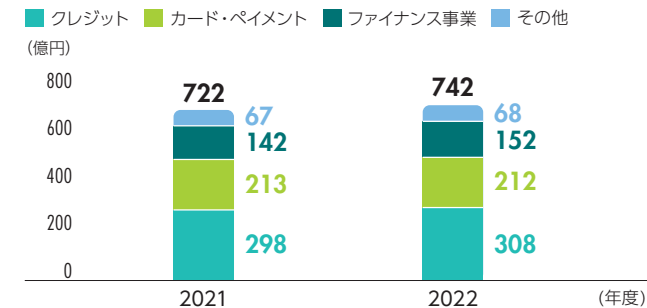
連結セグメント概況 (各年度の4月1日～9月30日)

国内事業

取扱高



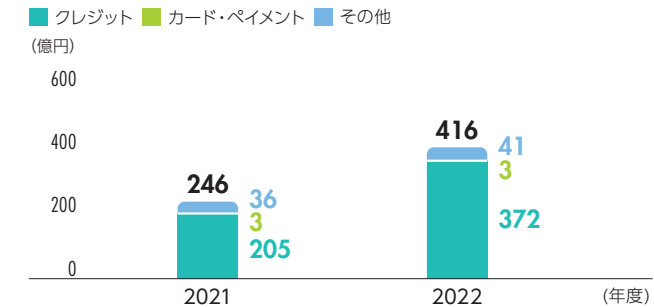
営業収益



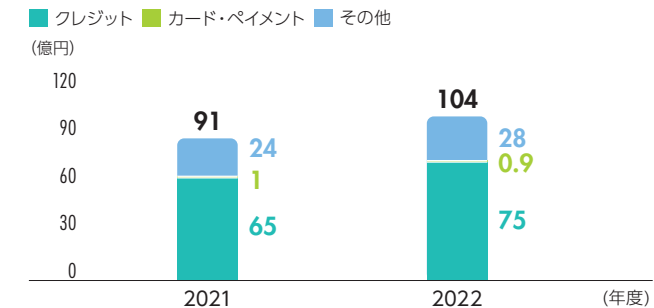
(注) 営業収益は金融収益を除いた事業収益を表示しております。

海外事業

取扱高



営業収益



POINT

- 国内のクレジット事業は、新型コロナウイルス感染拡大による行動制限が徐々に緩和されたことにより積極的な事業展開を進め、取扱高及び営業収益が増加
- 国内では、個人消費の改善にともない、カードショッピングの取扱高が堅調に推移
- 競合他社の攻勢により住宅ローン保証の取扱高が減少するも、保証債権残高の積み上げにより営業収益が増加
- 海外のクレジット事業は、各国政府のウィズコロナ政策による経済活動の活性化にともない、各種施策の実施や加盟店開拓に注力した結果、取扱高及び営業収益が増加

セグメント情報の
詳細はこちらから





3年ぶりにプロ野球観戦イベントを開催

2022年4月に東京ドーム

で行われた北海道日本ハムファイターズの試合に、小児がん経験

のある子どもたちや障

がいを抱える方々とそのご家族を招待しました。試合前には、グラウンドを走るベースランニングや始球式などの特別なイベントもあり、「久しぶりに家族と楽しい思い出ができました」などの声をいただきました。新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となりましたが、総勢212名が参加し、たくさんの笑顔が溢れる一日となりました。受付や会場でのアテンドは当社社員がボランティアとしてサポートしました。



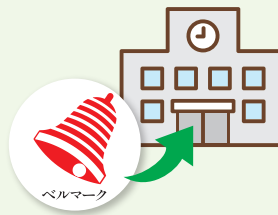
「2022函館マラソン」に特別協賛

2022年7月、当社創業の地である函館で開催された「2022函館マラソン」に特別協賛し、当日は当社社員とその家族19名がボランティアとして参加しました。道内を代表する温泉街、湯の川温泉近くの第5エイドステーションで、水に濡らしたスポンジをランナーに配る役割を担いました。夏の暑い日差しのなか、スポンジを手にしたランナーからの「ありがとう!」に、地域への貢献とやりがいを感じるボランティア活動となりました。



ベルマークを収集し学校に寄贈

当社グループでは、役職員が日常的に取り組める社会貢献活動として、年間を通してベルマークを収集し、年に一度、集めたベルマークを地域の学校に寄贈しています。2022年度は青森支店と盛岡支店から、各県内の小学校2校に10万点ずつ寄贈しました。学用品の購入など、教育環境の拡充に役立てていただく予定です。これからも未来を担う子どもたちへの支援と、地域に寄り添った社会貢献活動を継続し、豊かな社会の実現に貢献していきます。



会社概要/株主の状況

会社概要 (2022年9月30日現在)

商号	株式会社ジャックス
設立年月日	1954年6月29日
資本金	161億3,818万円
本店所在地	北海道函館市若松町2番5号
本部所在地	東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
従業員数	2,730名

連結子会社 (2022年9月30日現在)

ジャックスリース(株) 事業内容：リース	ジャックス・トータル・サービス(株) 事業内容：損害保険・生命保険の保険代理店	ジャックス債権回収サービス(株) 事業内容：「債権管理回収業に関する特別処置法(サービサー法)」に基づくサービサー	ジャックス・ペイメント・ソリューションズ(株) 事業内容：集金代行・後払い決済	JACCS International Vietnam Finance Co., Ltd.(略称 JIVF) 事業内容：クレジット、クレジットカード	PT JACCS MITRA PINASTHIKA MUSTIKA FINANCE INDONESIA (略称 JMFI) 事業内容：クレジット、リース	JACCS MICROFINANCE (CAMBODIA) PLC.(略称 JMC) 事業内容：クレジット	JACCS FINANCE PHILIPPINES CORPORATION (略称 JFP) 事業内容：クレジット
-------------------------	--	--	--	---	---	--	--

株式分布状況 (2022年9月30日現在)



(注)個人・その他には自己株式408千株(1.16%)が含まれております。

取締役・監査役 (2022年9月30日現在)

取締役会長(代表取締役) CEO 山崎 徹	取締役(社外) 鈴木 政士
取締役社長(代表取締役) COO 村上 亮	取締役(社外) 西山 潤子
取締役専務執行役員 千野 仁	取締役(社外) 岡田 恭子
取締役専務執行役員CFO 齊藤 隆司	取締役(社外) 三瓶 博二
取締役常務執行役員 大島 健一	常勤監査役 下河 照和
取締役常務執行役員 外口 利夫	常勤監査役 奥本 泰之
取締役上席執行役員 太田 修	監査役(社外) 村上 眞治
取締役上席執行役員 小林 一郎	監査役(社外) 小町谷 悠介

株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	78,910,000株	単元株式数	100株
発行済株式総数	35,079,161株	株主数	30,171名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三菱UFJ銀行	7,015	20.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,943	8.49
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,213	6.38
ジャックス共栄会	1,651	4.76
第一生命保険株式会社	1,359	3.92
明治安田生命保険相互会社	1,275	3.68
ジャックス職員持株会	1,007	2.90
RE FUND 107 - CLIENT AC	600	1.73
日本生命保険相互会社	588	1.69
三菱UFJ信託銀行株式会社	564	1.62

(注) 1.持株比率は、自己株式(408千株)を控除して計算しております。
2.持株数及び持株比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により当社ホームページ (https://www.jaccs.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社ジャックス

本部 〒150-8932 東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
TEL 03-5448-1311 (代)

当社ホームページをご覧ください。 <https://www.jaccs.co.jp/>

**UD
FONT** 見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

